

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-27-7586

目次	1面	小学校交流事業・中学校統合後の教育活動について
	2面	令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について
	3面	ネット利用に関するアンケート結果について
	4面	夏休みやさしいサポート教室を開催しました、学校における暑さ対策について

小学校交流事業・中学校統合後の教育活動について

小学校においては、本年4月に中学校が統合され、一つの中学校になったことを受け、中学校への円滑な接続を図るため、両小学校の5年生及び6年生を対象に専門家を講師に招き、なまこ山陸上競技場において、陸上教室を開催するなど交流活動を行いました。

今後も両小学校の5年生と6年生がお互いに交流を深めることを目的に、9月には中学校1年生及び2年生を交えて芸術鑑賞会（音楽・演劇）を2回開催します。また、10月にはそれぞれの小学校が行う音楽発表会を鑑賞し合う音楽交流会を実施するほか、中学校が実施する音楽発表会を両小学校の5年生及び6年生と一緒に鑑賞する音楽交流会など多くの交流事業が予定されており、両小学校や小中学生による交流活動を行い、中学校への円滑な接続を図っていきます。



**陸上教室の様子↑（5月15日（水）開催）
腕をしっかり振って走ることを意識しました！**



**体育大会の様子↑（5月24日（金）開催）
小雨にも負けず、白熱した体育大会となりました！**

今後も引き続き、中学校への円滑な接続や統合後の芦別中学校における教育活動を推進していくことを目的に、小小連携・小中連携や、小中一貫教育の推進などによる交流事業を通じて、小中学生が夢や目標を語る子どもになってもらえるよう、小中学校と教育委員会が連携を図りながら、これらの取組を進めていきます。

中学校においては、本年4月の統合後、初めてとなる体育大会をなまこ山陸上競技場で開催し、生徒同士による交流がより深められたところです。

体育大会で陸上競技場を利用するのは、初めての試みであり、昨年まで中学校のグラウンドを会場にした体育大会と異なり、駐車場が広く、保護者の観戦も多く、保護者にとっては、今まで以上に声援を送ることや撮影が容易になるなど、これまでにはない体育大会となりました。

中学校では来年度以降も、陸上競技場で体育大会を開催していくことを検討しています。



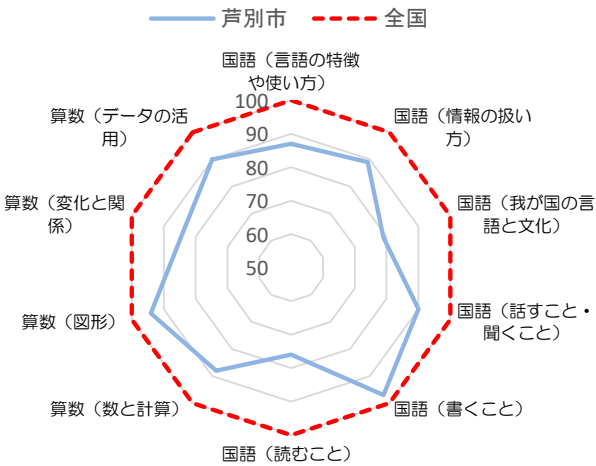
令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

毎年4月に、小学6年生と中学3年生を対象として、全国学力・学習状況調査が実施されます。この調査は、文部科学省が全国の児童生徒の学力や学習状況を把握するためのもので、今年度も4月18日に実施されましたので、学力調査の結果概要についてお知らせします。なお、児童生徒質問紙による学習状況調査の結果や、学力調査の詳細と調査結果に基づく改善策については、後日、市の公式ホームページでお知らせします。

☆芦別の子どものたちの学力☆

グラフは、教科の領域別に全国を100とした場合の芦別市の状況をレーダーチャートで示したものです。
(芦別市の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出しています。)

小学校6年生の教科全体の状況

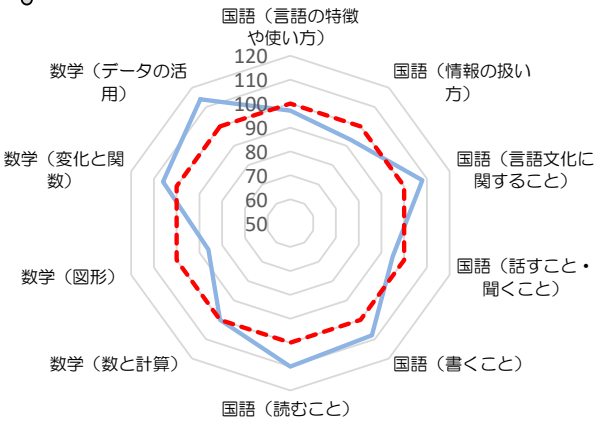


小学校の分析

教科全体の正答率の全国との比較では、国語が86、算数が92でした。国語では「書くこと」が全国比の97とほぼ全国と同様でしたが、「我が国の言語と文化」と「読むこと」の領域が全国と比べかなり低い状況でした。

算数についても、すべての領域で全国を下回り、基本的な領域である「数と計算」が全国比88と低い状況でした。基本的な計算を継続的に繰り返しドリルで定着させる必要があります。国語も算数も上位層が少なく、下位層が多い傾向にありました。

中学校3年生の教科全体の状況



中学校の分析

教科全体の正答率の全国との比較では、国語が102、数学が103でした。国語・数学とも全国の正答率を上回りました。国語は、「書くこと」「読むこと」が全国比108、110と高かったことが記述式問題の正答率が高かった理由と考えます。

数学では、「変化と関数」「データの活用」が全国比106、114と高い結果となっています。正答率の分布図を見ると、中間層が多い傾向にあります。基礎・基本がしっかりと定着してきたといえます。

学力向上の取組

芦別市では現在、北海道教育委員会から「学校力向上に関する総合実践事業」の地域指定を受けており、子どもたちの学力向上のために「授業スタイルの統一」と「授業でのICTの活用」の2つを重点的に取り組んでいます。小中学校で統一した授業スタイル「芦別スタンダード」により、どの先生も授業の流れが同じなので、学年が変わっても、小学校から中学校へ進んでも、戸惑うことなく授業に集中することができます。また、一人一台端末(タブレット)を活用した調べ学習や話し合い活動での交流・発表、家庭学習でのAIドリルの活用など、ICTを有効活用した教育活動により、子どもたちの学力向上に向けた取組が進められています。

ご家庭においても、学力の更なる定着に向け、家庭学習の取組にご協力をお願いします。

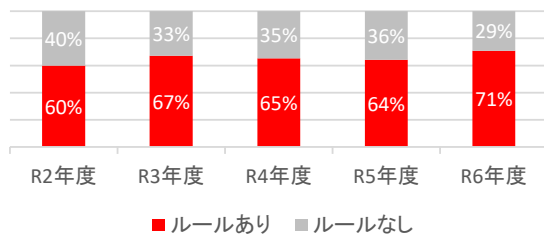
令和6年度 芦別市小中学生のネット利用に関するアンケート結果について

教育委員会では、毎年度、子どもたちの携帯電話やスマートフォンの所有状況などの実態を把握するため、市内の小学校5年生から中学校3年生までを対象とした「ネット利用に関するアンケート」を実施し、各小中学校でのモラル教育に役立てています。

本年5月に実施した調査では、情報端末（スマホなど）の所持率が、小学生で74%、中学生では95%となっており、家族と共有していると答えた人を含めると、小学生で84%、中学生では100%になり、ほとんどの児童生徒が情報端末を所持し、ネットを利用できる環境にあります。

また、今回の調査では、「各家庭内のスマホルールの有無」と「児童生徒のネット利用の状況」に注目して分析を行いました。分析結果は下記のグラフをご覧ください。

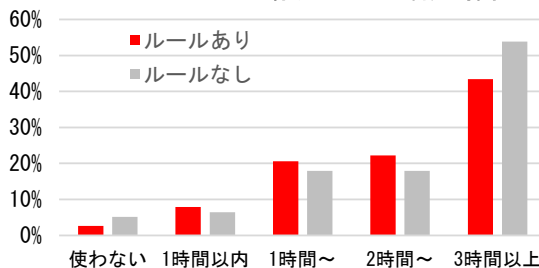
1. 家庭内のスマホルールの有無



1. 家庭内のスマホルールの有無

令和2年度から令和6年度までの本市の「家庭内のスマホルールの有無」の割合の変化を表しています。本市では、これまで「芦別市のスマホルール」を配付してきており、お子さんにスマホを持たせる場合に「家庭内のスマホルール」を作成する割合が増加してきています。

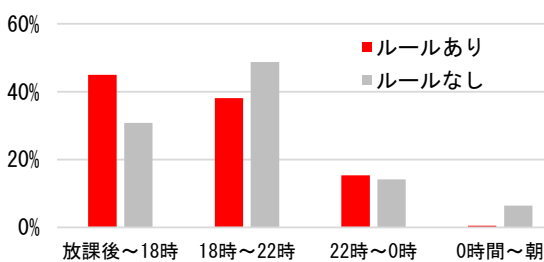
2. スマホルールの有無とネット利用時間



2. スマホルールの有無とネット利用時間

「3時間以上ネットを利用している」という児童生徒の割合については、「家庭内のスマホルールなし」が「家庭内のスマホルールあり」と比べて約10%高くなっています。「家庭内のスマホルールなし」の場合、児童生徒のスマホの長時間利用の傾向が高くなっています。

3. スマホルールの有無と利用時間帯

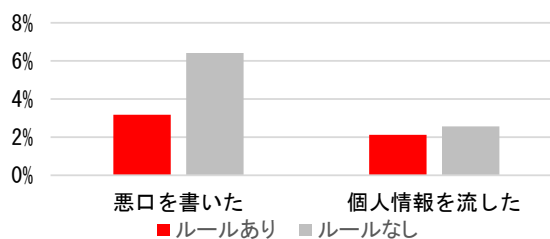


3. スマホルールの有無とスマホの利用時間帯

スマホの利用時間帯は、「家庭内のスマホルールなし」の方が夜遅くに利用し、特に深夜の「0時から朝」にかけて利用している傾向が見られます。



4. スマホルールの有無とネット上に他人の悪口や個人情報を流したことがある割合



4. スマホルールの有無とネット上に他人の悪口や個人情報を流したことがある割合

ネット上に他人の「悪口」を書き込んだ割合や「個人情報」を流した割合について、「家庭内のスマホルールなし」で高くなる傾向があります。

SNS関連の事件、事故から子どもたちを守るためにも、「家庭でのスマホルールづくり」と、「子どもたちがスマホルールをしっかりと守っているか」を見守ることが大切です。

なお、芦別市の公式ホームページでは、ネット利用の基本ルールを掲載していますので、ご家庭でスマホルールを話し合う際にご活用ください。

「携帯電話・スマートフォン・ネット利用の基本ルール」 QRコードからもご覧いただけます。→

<https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/docs/4805.html>



夏休みやさしいサポート教室を開催しました

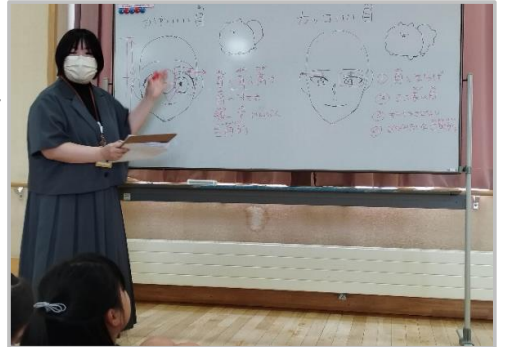
市教委では、市内小学校の児童を対象として、夏休みと冬休みの2日間で「やさしいサポート教室（学習会）」を開催しています。今年の夏休みは8月1日と2日に実施し、2日間で55名の児童が参加しました。当日は夏休みの宿題やワーク等を持参して、2時間程度の自主学習に励み、サポート教員や市教委の職員にわからないところなどを聞いたり、一緒に考えたりしながら熱心に勉強していました。

また、今回は2日目に、学習時間の中の1時間で「イラスト教室」を実施しました。講師として、芦別市地域おこし協力隊の岩崎佳奈美さんと竹下みな実さんにお越しいただき、1～2年生と3～6年生に分かれてイラストを上手に描く方法や技術について楽しく学びました。

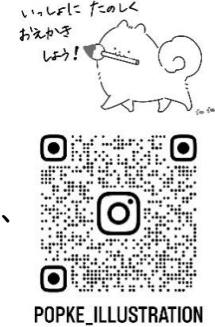
やさしいサポート教室では、例年、自主学習のほかにこのようなイベントを企画しています。長期休業中に自宅ではなかなか集中して勉強できないかた、普段行かない場所で気分転換して勉強したいかたなど、興味があるかたはぜひ参加してみてください。

なお、今年の冬休み中にも開催を予定しています。申込みについては通学している小学校から長期休業前に案内がありますので、学校の先生を通じて申込みしていただきますようお願いします。

岩崎さんのイラスト教室に興味があるかたはこちらまで！→



【上の写真】岩崎さんによるイラスト教室の様子



学校における暑さ対策について

昨年の猛暑を受け、本年6月には、市内小中学校の普通教室にエアコンを設置し、抜本的な暑さ対策を講じるなど、児童生徒が快適に教育活動を実施することができるよう、教室における学習環境の整備を行いました。

子どもたちからは、エアコンが設置されたことにより、暑い日でも涼しい中で勉強をすることができ、集中して学習に取り組むことができるなどの声が多く寄せられました。

また、エアコンの設置のほか、夏休みの期間を昨年と比較して数日間延長し、子どもたちの健康面に配慮したほか、暑さ指数測定器を各小中学校に配置し、一定の指数を超えた場合には、校外活動を原則禁止するなど、必要な暑さ対策を行ったところです。

来年以降も、昨年や今年と同様に、暑い日が続くことが予想されるため、学校においては、引き続き万全の暑さ対策を行い、児童生徒の安全を守る取組を進めていきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



教室に設置されたエアコン↑



暑さ指数測定器→

保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

- 【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係
- 【電話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696
- 【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp